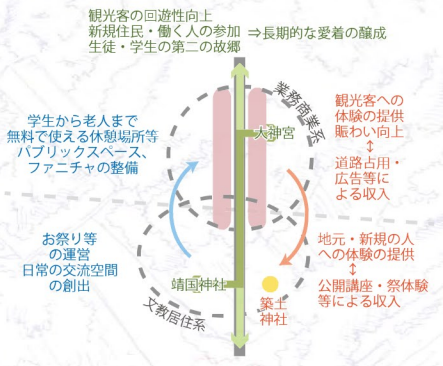


I. 氏子 BID の提案

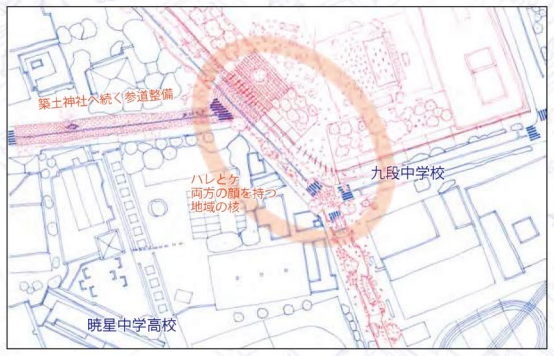
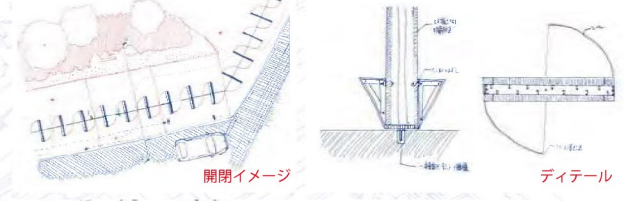
古くからの地縁の残る氏子町会に配慮しつつ、新しい層の人たちが入りやすいようデベロッパー、地元自治体も係る新しいかたちでのBIDを提案する。このまちを昔から知る人と新しい人と、みな各自ごととしてまちを運営する意識を醸成する。



組織	主体	関係性	内容	当エリア	積極的な事例
氏子町会	町会	地縁によるつながり (ボランティア)	新年・祭・年末夜宮等の しきたりの運営を中心 ⇒新しいものを担う傾向	築土神社を中心とする概ね町丁 目ごとの9つの氏子町会が活動 高齢化による活動のゆるやかな 衰退傾向が懸念	・神田明神：淡路町二丁目町会 ⇒高齢化の進む町会にワテラスの 開発をきっかけとして、学生や会社 等の若い人・新しい人を結びつける
エリアマネ ジメント組織	デベロッパー	社会的なつながり (長い目で見た地盤醸成)	新しい地域イベントの企 画を中心 ⇒収益性なく責任がない ため一過性に終わる傾向	アイガーデンに加え、サクラテラス 等飯田橋駅周辺の新規再開発 によるエリアマネジメント活動の萌 芽が期待	・他の例：UDCK ⇒産官学連携のシティセンターの 設置。道路の管理運営と合わせた 地域イベントの企画等を行う
BID	自治体+ 運営組織	社会的なつながり (収益性のある事業)	市民一体となったエリア ブランディング事業 ⇒地域に響かざらずチャレンジ 地元組織の強い場有効	特になし 早稲田通り沿いにポテンシャルが 期待	・ニューヨーク：ブライアントパーク ⇒公園を中心としたイベント企画・テ ナント・広告等による収入を地域に 還元、地域の魅力を高めている
氏子BID の提案	自治体・デベ ロッパー・地 元の連携に よる新組織	地縁によるつながりに 収益性を考慮した戦略	早稲田通りの道路占用・広告 や空き地等でのイベント、 学校の公開講座、祭体験等 新旧融合によるエリア醸成	町会の地縁を基盤としつつ、参加 しにくい新たな人の力を取り込む べく新規組織として活動。住みたく なる・来たくなるを同時に実現する	⇒都会にも少なからず地縁は存在 する。自らで地域の魅力を再発見 し、都会型の新たなエリアマネジ メントの手法の先進事例とする

Pj.3. 文教居住系界隈：時代・世代をつなぐ塀

九段中学校の建て替えスキームにあわせ、グラウンドを早稲田通り側に移設。開く、閉める、たたむ。少しの操作により開放具合を調整できる塀の計画。[日常]学校があり、生徒がいる平日、[異日常]校庭開放・地域イベントの開催されている平日より豊かにそれぞれの日常が重なる休日、[非日常]築土神社のお祭り、1年で一番のハレの日、ごとのアクティビティを考える。



■早稲田通り沿いに空間を集める

富士見小学校・暁星中学高校のグラウンドが早稲田通りに面している。九段中学校は逆であるが、校舎改修のスキームにあわせ、グラウンドを早稲田通り沿いへと移設する計画を行う。早稲田通りへの日照を確保でき、通学路が明るくなることに加え、非日常・異日常時に各校のグラウンドを連携し、一体的に使うことができ、地域の核としての機能がより強化される。



Pj.0 北の丸公園とつなぐ 10. ゲートとなる舞台

Pj.0 子どもサイズ・大人サイズ

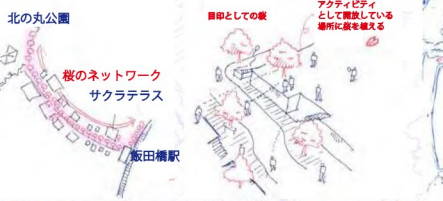
Pj.0 塀の豊かな使い方 7.

Pj.0 8. 地域の縁側となる1階

グラウンドを挟んだ賑わいの目印の桜並木

II. 桜を中心とした植栽計画の提案：賑わいの目印となる桜

北の丸公園内・外堀沿い内の桜の軸、外堀沿いの桜の軸をつなぐよう、早稲田通り沿いに桜の軸を提案する。また、拠点ごとの桜の植樹を計画する。3つの拠点他、ちょっとした空間提案のスポットに植樹することで、桜自身が賑わいの目印となり、アイストップとして歩行者の記憶に残る。現在、通りと周辺、施設・場が分断され、街路樹の統一感もない状態になっている早稲田通りを繋ぎ、ヒトを多方向へ促すピンクの触媒となる。



Pj.0 車道と歩道の 9. 一体的な利用

Pj.0 ちょっとした起伏 3. と隙間の工夫

Pj.0 子どもと老人： 5. 世代をつなぐ小さな場

Pj.0 日常/非日常の 6. 道路占用

東側歩道

- 日常：平日朝
小学生の通学路
- 日常：平日夕方
小学生が帰り道におしゃべりできる隙間、宿題をできる机、一時道路占用の花壇
- 異日常：休日昼
西・東側歩道・歩行者天国による道路を一体的に活用した賑わい空間

■空き地の活用・運営

西側歩道

- 日常：平日朝
出社する会社員の通勤路
- 日常：平日夜
周辺会社の仕事帰りや近所に住む会社員が飲んで帰れるようなカウンター
- 異日常：休日昼
西・東側歩道・歩行者天国による道路を一体的に活用した賑わい空間

Pj.0 歩道毎のアクティビティにあう街路樹活用 2.

Pj.0 賑わいを引き込み つなぐパーゴラ 4.

Pj.0 日当たりの悪い 1. 駅前の実用的な空間

Pj.1. 業務商業系界隈：新規開発とまちをつなぐ

昔からの早稲田通りを知る人、飯田橋駅付近の開発で新しく居住・通勤する人。早稲田通りの顔となり、自然と交流が生まれ、分け隔てなく誰もが利用しやすいたまり空間を、新規開発にあわせ提案する。

